

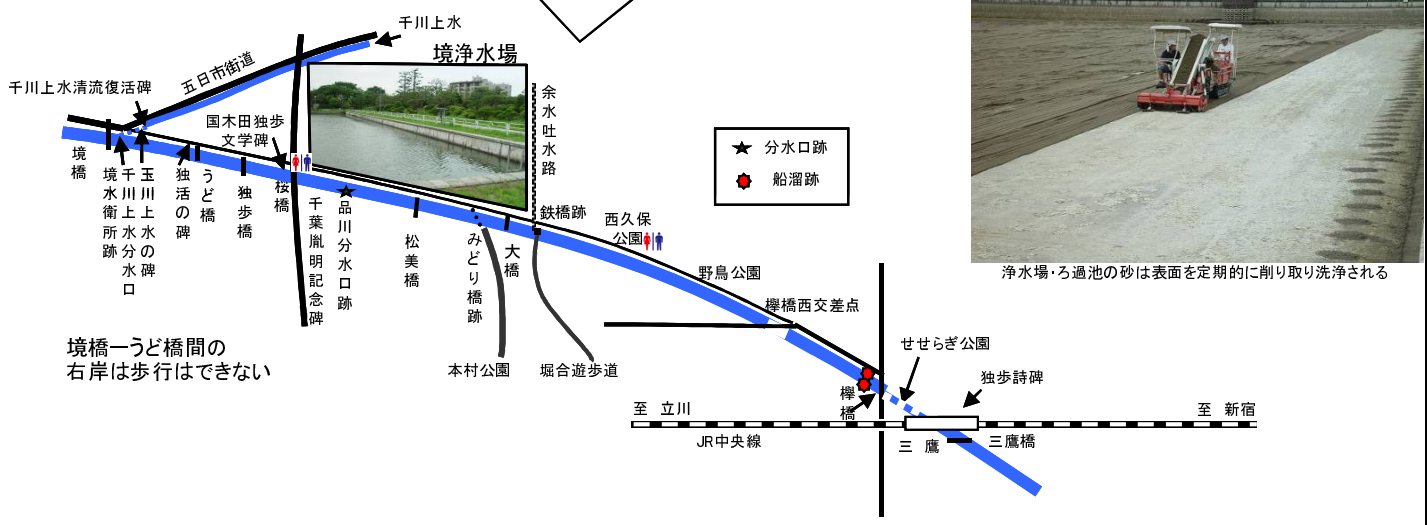
散歩ガイドマップ 下流部

境橋から三鷹駅

境水衛所跡と千川上水

境水衛所は1894年に上水路の管理のため他の7箇所の水衛所とともに設置された。1966年には上流にあった千川上水の分水口が構内に移された。1980年に水衛所は廃止された。

千川上水は1696年、5代将軍綱吉の白山など4箇所の「御成り御殿」へ上水を送るため開削された。多くの変遷を経て、1971年北区王子の大蔵省印刷局への送水停止を以って使命を終えた。



みどり橋跡と引込み線跡

みどり橋は境浄水場建設の時、武蔵境駅から浄水場まで東京市水道局境浄水場線が敷かれた。浄水場建設資材やろ過用の砂の運搬に利用されていた。廃線後この鉄橋跡に木製のみどり橋が架けられていたが、老朽化により現在は撤去されている。線路敷きの一部が木村公園となっている。

また、戦前現在の武蔵野中央公園付近にあった軍需工場へ物資運搬専用線が引かれた。戦後、1951年まで工場跡に造られたグランドへの競技場線に転用された。廃線後グリンパーク遊歩道、堀

境浄水場

用地面積は約21万㎡(約6万坪)・ろ過池20 1918年に着工、6年後に完成、続いて1931年から3年がかりで2期工事が行われた。

村山・山口貯水池(多摩湖・狭山湖)から地下導水管により自然流下式で導かれた多摩川の原水を緩速ろ過法で浄水、和田堀給水所へ送られる。施設能力は一日当たり31.5万立方mで東京都全体の約4.5%を占める。

村山・山口湖からの原水導水路の上はサイクリングロードとして整備され、広く利用されている。

境浄水場から玉川上水路への余水吐口がいくつか見られる。1965年の通水停止後も三



浄水場・ろ過池の砂は表面を定期的に削り取り洗浄される

玉川上水ワンポイントガイド No. 13

散歩ガイド (一橋学園駅から三鷹駅)



品川分水と分水口跡

品川分水は1669年、品川領内の9つの村や宿に農業用水として開削されたといわれる。1948年に通水を停止した。



大橋

1788年ごろ記された上水記に「保谷橋・境新田石橋共云」とその名があり、歴史ある古い橋。今の橋は1932年に架けられ、1999年には大幅な改修工事が行われている。

大橋を通る大師道は狭い道であるが南へは深大寺、甲州街道・調布五宿に続き、また西北方向は田無を経て青梅街道や所沢街道へ続く便道であった。

1918年境浄水場の建設で大師道が分

三鷹駅とせせらぎ公園

JR中央線は1889年甲武鉄道として開通、三鷹駅は1930年に開業した。玉川上水は駅北側を開渠で流れ、南側の三鷹橋へレンガ積みアーチ形のトンネルで斜めに線路下を横断した。この線路下のトンネルは現在も使われている。北側の水路はホームの延伸や立体化、北口の再開発などで段階的に暗渠化され、僅かに残った水路はホーム北側から見える。

櫛橋から三鷹駅までの玉川上水路は都道の拡幅などで暗渠化され、上部に人口

シリーズ 玉川上水ワンポイントガイド

No	テーマ
1	玉川上水の概要
2	玉川上水の分水
3	玉川上水の分水・小平編
4	玉川上水と小平周辺の新田開発
5	玉川上水の橋
6	玉川上水の水車
7	玉川上水の通船・船溜り
8	玉川上水の樹木・野草・野鳥
9	玉川上水と小金井サクラ
10	玉川上水あれこれ
11	玉川上水お勧め散歩ガイド
12	玉川上水散歩ガイド 玉川上水駅から一橋学園駅
13	玉川上水散歩ガイド 一橋学園駅から三鷹駅

発行 No.13 2008年4月 No1~No12発行済

発行 小平・玉川上水再々発見の会
E-mail tamagawasaisai@yahoo.co.jp